



学校教育目標 「自ら学び 心豊かで たくましい子ども」

R7重点 「次の10年に向けた基盤づくり」

重点1 語学と現地理解の充実

- ・スペイン語および英語指導の充実（日常生活で生きる語学学習）
- ・現地校交流と校外学習を通じた言語教育を生かした現地理解学習
- ・英検の積極実施
- ・夏季体験入学での子供同士の交流

重点2 資質・能力の向上

- ・基礎基本の定着を重視した家庭学習課題
- ・タブレットを活用した個別最適な学びを重視した授業
- ・読書および体力づくりの推進
- ・幼稚部等異年齢活動を通じた心の教育

重点3 持続可能な教育課程の検討

- ・学校規模及び財政状況および日本の教育界の動向に基づき、今後も、持続が可能で、本校の子どもに有益な教育課程の検討・協議
- ・学校規模に応じて、本校の魅力を引き出せる計画案の策定

重点4 校内研修を次のステップへ

- ・本校の現状を鑑み、従来の「仮説検証型」から、「課題解決型」研修へ転換
- ・R5～R6の研修を土台とした、子どもが戸惑わない指導ルールの継続（課題提示やまとめなど）

重点5 特別支援体制の整備

- ・本校の学校規則等を前提とした入学規準等の徹底
- ・コーディネーターを中心とした、校内研修や体制整備推進
- ・入学前を含めた、必要に応じた教育相談体制の構築

重点6 中・長期計画の見直し

- ・第4期教育振興基本計画（R5～R9）に基づく学習指導要領改訂を見据えた準備
- ・学校存続に向けた教育課程および人的・物的環境の見直しに基づいた計画の策定

経営
改善

【予算】 学校運営委員会での、今後も学校の魅力をより多くの子供たちへ提供できる経営基盤の確立

【広報】 学校からの、積極的なSNSおよびホームページでの広報、他社媒体の積極活用